

# スポーツでつながる、 地域が動く

フットサルを軸にした地域交流イベントを開催し、  
世代・地域を超えた「つながり」を創出

Authors

志方一慶

Affiliations

立命館宇治高等学校

地方都市では、**人口減少**や高齢化により地域内の交流機会が減少し、行事や活動の担い手不足が課題となっている。一方で、地域には十分に活用されていない体育館や公共施設が存在する。本提案は、こうした課題に対し、スポーツを「**交流のきっかけ**」として活用し、地域内のつながりを再構築することを目的とする。



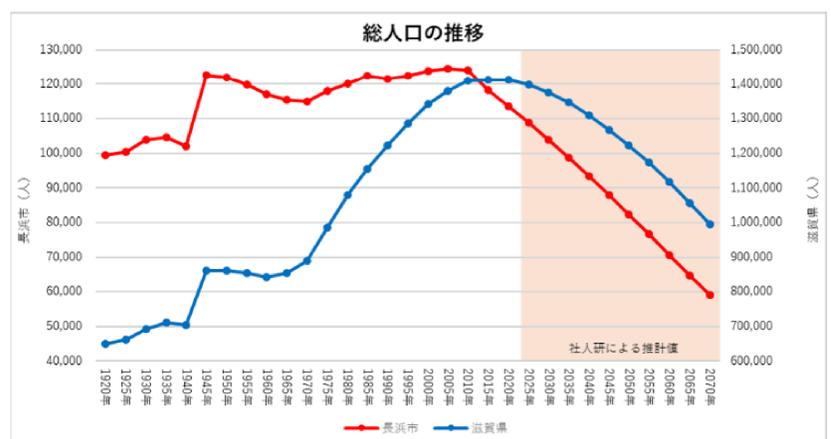
## 訴えたいアイデアのポイント

未活用の体育館を活かし、  
フットサル交流イベントを定期開催して地域のつながりを**回復**する  
フットサルは少人数・屋内で実施でき、天候や広い土地に依存しない  
子どもから高齢者まで参加しやすく、世代間交流を生みやすい  
定期開催で「**交流の場**」を習慣化し、地域コミュニティの再形成につなげる

## なぜこのアイデアか

滋賀県/長浜市では、人口減少と高齢化により地域行事の担い手不足や交流の希薄化が進んでいる。一方で、体育館などの公共施設は十分に使われていない時間帯がある。

だからこそ、設備投資を最小限にしつつ実行でき、参加のハードルが低い「フットサル×交流」を地域の仕組みにする。



出典：国勢調査

## アイデア実現までの簡単な流れ

- 現状把握：人口動態・地域課題・体育館の稼働状況を確認
- 連携づくり：自治体、学校、地域団体、スポーツ関係者と役割分担
- 試行開催：体験会＋交流試合＋初心者向けメニュー
- 効果測定：参加者アンケート（満足度、再参加意向、交流の実感）
- 改善して定期化：月1回などで継続開催し、地域イベントとして定着

